

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		衣料品専門店（経営者）	・ 来客の様子で、欲しくないものはどんなに安くしても買ってもらえず、欲しいような商品であれば、多少高くても買ってもらえるため、当店の来客に合わせた品揃えを進め、秋冬物の時期には良くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・ 8月のねぶた祭りが終了し、残暑が厳しくなると秋物商戦に悪い影響を及ぼすが、今年は、夏が無いような状況であるため早く秋風が吹くことを期待している。それにより夏物の不振をカバーできるのではないかと考えている。
		衣料品専門店（店長）	・ この1～2か月の夏物商戦は苦戦が見込まれるが、その後の秋物へのシフトがスムーズで、順調に推移する。
		観光型ホテル（経営者）	・ 現在、8～9月の予約状況は、前年より多少低いが、10月以降は前年を大きく上回っている。しかし団体客を含め、単価は低い。 ・ 稼働率が上がれば単価は下がる。 ・ ダイレクトの客は、予約の時に必ず「安い部屋で」と言われる。 ・ 今年初めて、週末に空き室があった。 ・ 今月も一泊5万円の高級ホテルの方が、前年実績を大きく上回っている。
	観光型旅館（経営者）	・ 来月はやや不安要素はあるが、9～10月の予約はかなり先行している。 ・ SARS騒ぎで一時止まっていた台湾の客も戻り始めている。 ・ 11月も含め、秋口にどれだけ追い込めるかで今年が決まるため、確認と追い込みを急ぐ予定である。 ・ 今年は昨年以上に厳しい年である。	
	変わらない	商店街（代表者）	・ 来客も含め、消費者のマインドが冷えきっている状態であり、消費動向は芳しくない。 ・ 今夏の東北の祭りも、昨年同様盛り上がり欠けると見ている。数年前より七夕のイベント時間が食事時間と重なり、客が極端に減少しているという問題もあるため、祭り効果が期待できない状態である。
		商店街（代表者）	・ 消費が景気をけん引するのは、当然と言えば当然であるが、生活者に消費する気を起こさせるマインドをどう作るか、これができれば景気回復は簡単であるが、これが難しく、2～3か月先もこのままである。
		百貨店（売場主任）	・ グランドオープン後の入店客数は期待したいが、閉店セールほどの売上は期待できない。
		百貨店（広報担当）	・ 売場のリニューアルや、新規ブランド導入などといった期待要因はあるが、株価や公共支出の負担増などといった外的なマイナス要因も払拭されないため、この両方を勘案すれば、個人消費は依然として慎重にならざるを得ない。
衣料品専門店（店長）		・ 天候回復により、夏物の動きが一時的に期待できるが、底上げには至らない。秋物の立ち上がり次第で今後の動向が予測でき、現段階ではこの状況が大きく変わるとは思えない。	
乗用車販売店（経営者）	・ 7月から9月にかけて、各メーカーで若干のモデルチェンジが予定されており、需要の掘り起こしが期待できる。県内景況感が落ち着いているという報道も幸いし、そこそ堅調な動きが期待できる。しかし、長梅雨により米の不作が懸念される。		
乗用車販売店（従業員）	・ 9月は仮決算であり、大型のキャンペーンをするが、効果はあまり期待できない。		
住関連専門店（経営者）	・ 今月、同業者が近隣にオープンし、相乗効果により販売量が若干増えているが、今後のシーズンインにどう動くかが不透明である。		
高級レストラン（支配人）	・ 対前年同日比で、宿泊予約は、前年より多少上回る程度でほぼ横ばい、宴会予約も法人、個人、婚礼、法事などほぼ、前年並である。 ・ レストランは、周辺のデパートの特売により左右されるが、予約件数については、変わらない。		
一般レストラン（経営者）	・ 競合他社でも販売価格を低く設定しており、来客の分散化が目立ってきている。		

	都市型ホテル（スタッフ）	・総賃金が減少している中、夏物商品の前年マイナスは必至である。安近短が定着しており、厳しさは続く。いかに人を集め、収益につなげるかが課題である。
	通信会社（営業担当）	・インターネット系のサービスについては、以前から単価の低下が続いているが、IP電話などの新しいサービスが始まるため、全体的には変わらない。
	テーマパーク（職員）	・梅雨が長引き、寒い日が続いており、インドア施設としてはまあまあであり、前年比110%である。
	遊園地（経営者）	・団体向けの集客に力を注ぐものの、冷害による米の不作懸念や、宮城県北の連続地震の影響などが心配され、一般顧客の集客は弱含みが見込まれる。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の延長論が出ていることと、公庫金利の引き上げが決まり、受注はやや減少するが、住宅やマンションの購入意欲は依然として底固く、来客数はキャンペーンの効果が出れば増加する。しかし、大勢に影響はなく、景気は低迷状態のまま推移する。
やや悪くなる	スーパー（経営者）	・7月上旬に当地の老舗スーパーが倒産し、その6店舗の何店かに大手スーパーが進出してくるといふ噂になり、その前に少しでもけん制しようと、ますます過激な価格競争になっている。大きい店ほど超びっくり目玉を出しているため、当社はますます厳しく、悪くなる。
	スーパー（店長）	・増税や、賞与の手取り減少など、ますます消費への影響が出る。 ・各社共に集客確保のための、チラシディスカウントが強まり、今後さらに価格低下に向かう。
	家電量販店（店長）	・ボーナス時期なのに、盛り上がりを感じられない。それに加え、長梅雨により季節物が悪い。出るべき商品が売れないため、将来的に悪い。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・全体としては下げ止まっているが、最近の低温や地震などの被害で、状況としては厳しくなると見ている。
	その他飲食〔そば〕（経営者）	・近所の高層ビルに入居している事務所の撤退が目立ち始めている。それに伴い、ビル内の飲食店の閉店も増え、以前はにぎわいのシンボルだったビルが閑散としている。イベントを行っても効果が無い。周囲の人通りも少なくなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・再建計画は出されていたものの、倒産したと思っていたホテルが、どこから資金を捻出したか分からないが、新たな設備投資を行うことになっている。当市内では1～2位のホテルであるため、新しい設備やメニューに対する噂が出て、当ホテルでは当面苦しい状態が続く。
	都市型ホテル（経営者）	・予約状況が昨年より悪い。 ・同業者のリニューアルと新規参入によって婚礼が減少する。 ・一宴会、一組当たり婚礼の平均人数の減少と単価の低下による売上減少。 ・SARSにより延期となっていた中国との会議やレセプションが、地方開催を中止し、東京開催のみとなり、その他の国際会議や海外とのスポーツ大会などが延期から中止に変わり、当初売上繰り延べと考えていたものが、戻らないことになり、売上が大きく減少する。
	タクシー運転手	・客から、失業しているが、仕事がなかなか見つからないという話をよく聞く。働き先が無ければ景気は良くなるし、多少株価が上昇しても、庶民には関係の無い話である。
	住宅販売会社（経営者）	・来場者数はそこそこであるが、リフォーム客が増加し、決断が遅くなっている、公庫ローンの金利上昇など、先行き不透明感が強まっている。
	悪くなる	百貨店（売場主任）
スーパー（経営者）		・悪化する理由の最大の要素は冷夏であり、冷害ともいえる影響が今後顕著に出てくる。それに加え当地では大型店の出店が相次いでおり、競争が一段と激化するなど、明るい要素がない状況である。
スーパー（店長）		・24時間営業の大手スーパーが2次商圏内にオープンし、昼夜の客数が減少している。 ・8月上旬に、県内最大規模のショッピングセンターが郊外にオープンし、チラシ合戦に突入する。

		観光型旅館（経営者）	・長引く梅雨のため、客の旅行マインドが冷え切っており、天候が回復しても遠出や宿泊にはつながらない。 ・宮城県の地震の影響が大きく、キャンセルが続いており、地震がいつまでも収まらないため、先々の予約のキャンセルも増えている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・製品の需給バランスが取れ、収益性が改善しつつある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在、設計・試作中の医療機器などの製品の立ち上がりが予想される。内示情報では仕事量が増加する見込みであるが、一過性のものか不明瞭であるが、秋口以降には数機種の立ち上がりが期待できる。
		輸送業（従業員）	・SARSの影響もなくなり、輸入量も増え、また輸出の自動車や液晶関連の動きが活発になってきている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・ずっと低迷、横ばい、あるいはマイナスであった商業活動が、チラシ折り込みの状況から上向きに転じていると感じられ、それが4か月も続いているため、上向きとなる。
	変わらない	電気機械器具製造業（営業担当）	・継続的な仕事の循環がみられず、スポットで大きな仕事を受注し、それが終わると当面仕事が無いという状況が続く。
		建設業（経営者）	・実行に移り始めた民間の設備投資が、今後どの程度継続するか疑問である。これが多くなれば、景気は良くなるが、どうなるか分からない。
	やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・受注が益に間に合わないため減少している。販売価格が天候不順により低めに進行する。
		食料品製造業（経理担当）	・今年の冷夏による特需は終わり、通常月の出荷となる。
		繊維工業（総務担当）	・秋、冬物生産の最盛期であり、忙しい日々が続いているが、受注量の不足から切り上げは早く来る。春、夏物の受注に期待しているが、見通しは悪い。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・国内の自動車販売の一部に陰りが出てきている。
		建設業（経営者）	・二輪車市場で、アジアの一部に生産調整が出てきている。 ・建設投資額は年々縮小しているのに、業者数はほぼ横ばいで推移しており、先行きは暗い。
	悪くなる	コピーサービス業（経営者）	・景気が良くなる要因は思いつかず、悪くなる要因はすぐ思いつくという状況である。ゼネコン不況、地方自治体が活性化しない、国の予算が動かない。中小企業は現状を持ちこたえるだけで精一杯の状況で、客先の発注も小口化し、売上増進に結び付かない。
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・企業側の戦略が、守りから、攻めに転じており、戦力変更に伴う採用の相談が増えている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣の引き合いとは別に、現在の派遣形態を外注化できないかとか、自社で抱える間接部門のアウトソーシング化等に関するコンサルなどの動きが出てきており、2～3か月後にはかなり活性化する。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・職種や業界によっては、上向いている会社があるのも事実であり、営業職の募集は多い。しかし実際に派遣契約につながるかという点、求人は若年層で、登録者は中高年などというミスマッチ状態である。
		人材派遣会社（社員）	・新たに取引が始まる企業は増えているが、既に取引のある企業は派遣人数を減らす傾向が強く、プラスマイナスゼロといった状況で、自転車操業ようになっており、先が見えない。
		職業安定所（職員）	・製造業及びサービス業における業務請負からの求人が大幅に増加したが、就業場所が管外や県外の求人も多く、管内の雇用状況改善にはつなげていない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者のうち、事業主都合離職者は減少しているものの、無業者が高止まりしており、離職後長期間就職できない人が多数存在している。 ・管内経済を牽引する好材料が見当たらず、企業の採用マインドに回復の兆しがみえない。
職業安定所（職員）		・求職者数が増加していることや、就職者数が伸び悩んでいるものの、新規求人が前年比でまだプラスになっていることから、大きな変化は今のところないと見ている。	
	職業安定所（職員）	・求職者数が減少し、求人が増える傾向で推移しているが、管内の一部誘致企業では事業所閉鎖や人員合理化の動きが見られる。	

やや悪くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・長雨の影響で、季節物を中心とした業種に深刻な影響が出ている。サービス業、飲食業などアルバイトを中心とした求人が増える時期に、ほとんど募集が無く、この長雨が長引けば長引くほど、深刻な状況の拡大が懸念される。
	職業安定所 (職員)	・生産拠点の海外シフトの影響から、製造業を中心に新たな雇用調整の動きが出てきており、雇用情勢の悪化が懸念される。
悪くなる		